月次運用レポート

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

2026年11月

設定日：2005年3月4日
信託期間：原則として無期限
決算日：原則として毎年3、6、9、12月の各20日（休業日の場合は翌営業日）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■基準価額・純資産総額の推移

	2026/10/30	2026/9/30
基準価額	13,447 円	13,403 円
純資産総額	52.0 億円	51.9 億円
累積投資額	54,643 円	54,464 円

基準価額（月中）	高値	13,555 円	（10月22日）
	安値	13,301 円	（10月23日）
基準価額（設定来）	高値	14,760 円	（2026年6月16日）
	安値	4,426 円	（2009年3月10日）
累積投資額（設定来）	高値	57,161 円	（2026年8月31日）
	安値	6,539 円	（2009年3月10日）

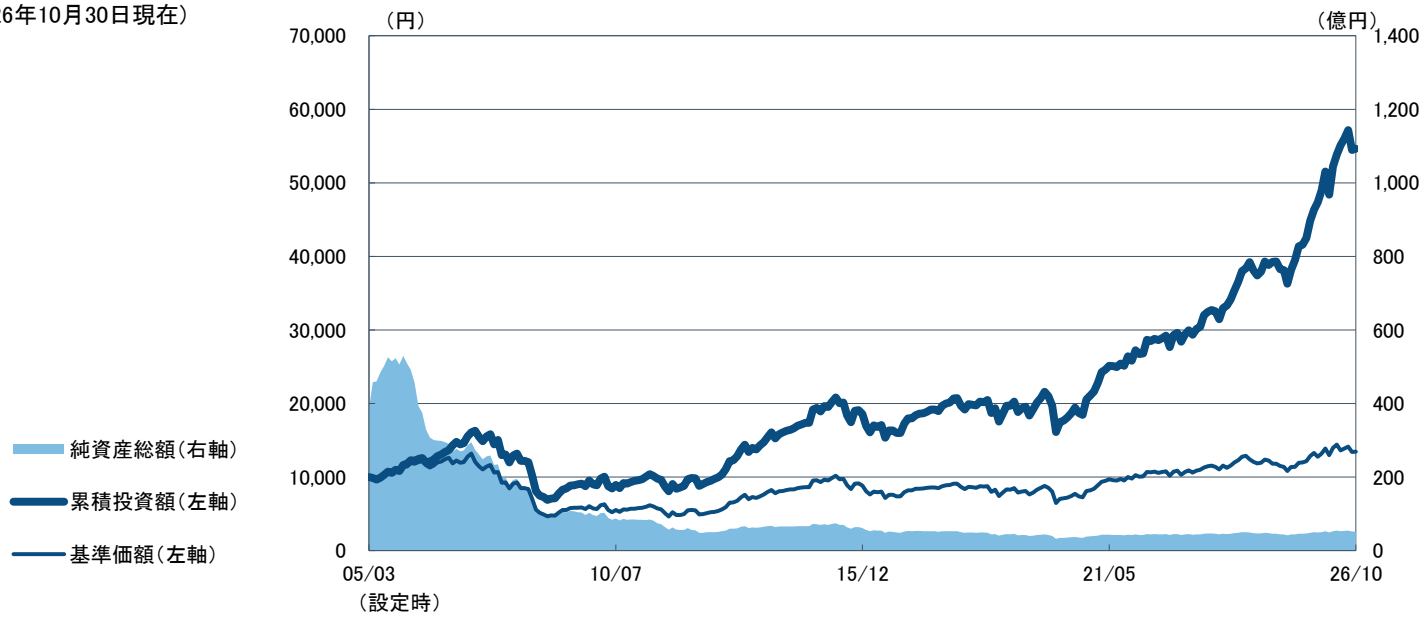
■累積リターン

（2026年10月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.33%	−2.47%	4.66%	21.96%	73.66%	446.43%

■運用実績の推移

（2026年10月30日現在）



※基準価額は、運用管理費用（後述の「運用管理費用（信託報酬）」参照）控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

2026年11月

■分配の推移（1万口当たり／税引前）

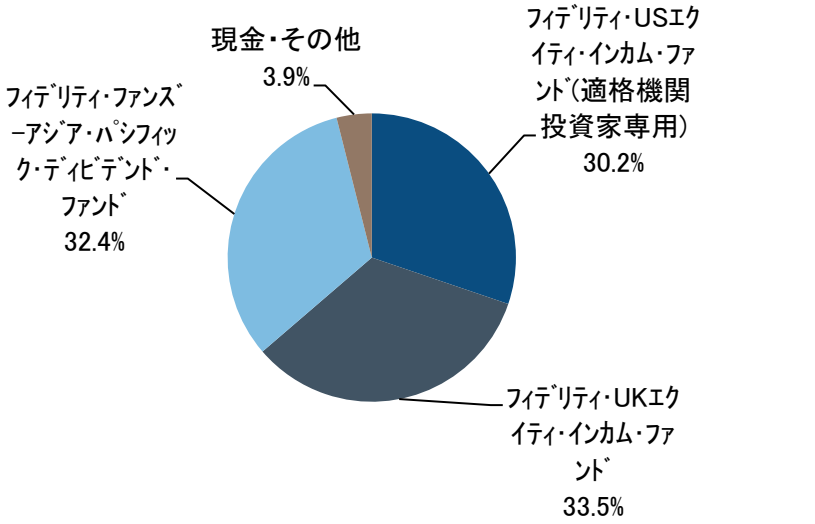
（2026年10月30日現在）

決 算 期	日 付	分 配 金
第 81 期	2025年6月20日	400 円
第 82 期	2025年9月22日	80 円
第 83 期	2025年12月22日	800 円
第 84 期	2026年3月23日	80 円
第 85 期	2026年6月22日	1,100 円
第 86 期	2026年9月24日	80 円
設 定 来 累 計		13,900 円

■ポートフォリオの状況

◆ファンド別組入状況

（2026年9月30日現在）



（対純資産総額比率）

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。
※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

■コメント

（2026年10月30日現在）

◆市場概況

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で-0.74%。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が-0.93%、ダウ工業株30種平均は+1.70%、ナスダック指数は-5.30%。米国株式は下落しました。AI関連株の調整などを背景に、株価は下落しました。上旬は、雇用統計を受けて追加利上げ観測が後退したことなどから上昇したものの、AI関連企業の成長性を巡る懸念から、半導体株を中心に上値の重い展開となりました。中旬は、インフレ指標の加速や原油価格の上昇に加え、AI関連企業の資金調達への懸念が重しとなり、テクノロジー株を中心に下落しました。下旬は、AI関連株への買い戻しから一時反発したものの、主要テクノロジー企業の決算発表後に売りが強まり、月末にかけて下落しました。月間では、ディフェンシブ性の高い銘柄群が上昇した一方で、AI関連株や大型ハイテク株は相対的に軟調であったことが指数を押し下げました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+0.87%。月上旬は、原油や天然ガスの先物価格が上昇したことやフランスの財政懸念の高まりを背景に欧州各国での金利上昇が嫌気され、市場は下落しました。イラン情勢を巡る不透明感の高まりも市場の重しとなりました。月中旬は、AIや半導体関連株への不透明感が高まる中、ヘルスケアや生活必需品などディフェンシブ株が物色されました。長期金利が低下したことやドイツとフランスでEUの欧州製電気自動車の優遇措置案で合意したことが好感され、市場は上昇しました。月下旬は、原油先物の上昇やフランスを巡る不透明感を受けて下落する場面がありました。しかしその後、ドイツの企業景況感指数が上振れしたことや市場予想を上回る決算を発表した企業が物色され、市場は堅調に推移しました。
【アジア株式】MSCI AC ファー・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は-9.01%。原油高によるインフレ懸念に加え、AI関連株への先行き不透明感が強まり、株価は下落しました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は-3.48%。当月の東京株式市場は、人工知能（AI）のインフラ投資を巡る資金調達やその持続性に対する懸念を背景としてAI・半導体関連株が調整したことを受け、下落しました。
米半導体メモリ大手の好決算や、米労働市場の減速を受けて米利上げ観測が後退したことを支えとして上昇して始まりました。しかし、それまで上昇していたAI・半導体関連株を中心に利益確定売りが広がると、世界的なインフレ懸念を背景とした金利先高観に加え、米AI向けクラウドサービス企業の社債価格急落を契機としてAI投資減速への懸念が高まり、月半ばにかけて株価は急落しました。その後も、AI関連企業による巨額のインフラ投資計画を受けて、関連企業の財務に対する懸念が高まったことも下押し圧力となり、続落しました。米AI新興企業が新規株式公開（IPO）に向けて公表した上場申請書類で収益性の改善が示されたほか、米連邦公開市場委員会（FOMC）で金利が据え置かれたことも安心材料となり反発する場面もあったものの、米AI関連企業の決算発表を受けてAIインフラ投資の持続性に対する懸念が再燃し、月末に再び下落しました。
【為替】米ドル／円相場は、約0.22%の円安（1米ドル＝157.14円→157.49円）。
ユーロ／円相場は、約1.50%の円高（1ユーロ＝178.48円→175.8円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。）

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。

月次運用レポート

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

2026年11月

投資対象ファンドの運用状況

■フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド（適格機関投資家専用）

（2026年9月末現在）

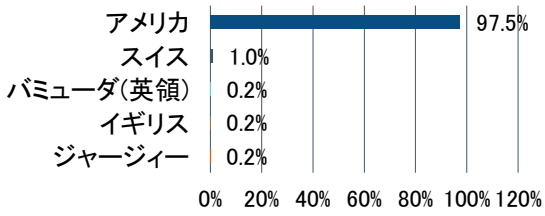
◆資産別組入状況

株式	94.9%
投資証券	4.2%
現金・その他	0.9%

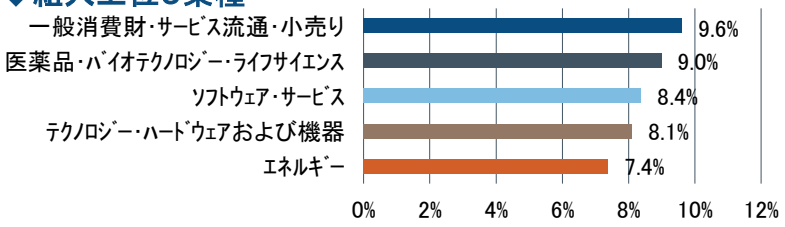
◆組入上位10銘柄　（組入銘柄数： 148 ）

	銘柄	比率	配当利回り
1	アマゾン・ドット・コム	4.7%	–
2	アップル	4.2%	0.3%
3	マイクロソフト	3.6%	0.8%
4	エクソンモービル・ホールディングス	3.1%	2.5%
5	ベンタス	2.6%	2.4%
6	タルガ・リソーシズ	2.6%	1.8%
7	メルカドリブレ	2.5%	–
8	アルファベット（クラスA）	2.4%	0.3%
9	ユナイテッドヘルス・グループ	2.2%	2.5%
10	ギリアド・サイエンシズ	1.9%	2.2%
	上位10銘柄合計	30.0%	

◆組入上位5ヶ国・地域



◆組入上位5業種



※フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド（適格機関投資家専用）は国内証券投資信託であり、ファミリーファンド方式で運用しております。ここではフィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド（適格機関投資家専用）の主要投資対象であるフィデリティ・USエクイティ・インカム・マザーファンドの状況を、フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド（適格機関投資家専用）ベースに再計算して表示しています。

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※組入上位10銘柄の配当利回りは公表されている実績データを元に委託会社が計算したものです。

■フィデリティ・UKエクイティ・インカム・ファンド

（2026年9月末現在）

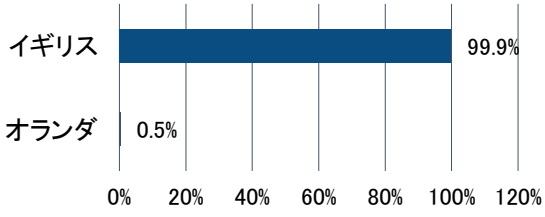
◆資産別組入状況

株式	100.5%
現金・その他	0.0%

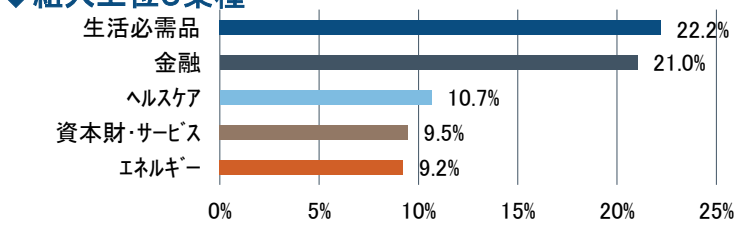
◆組入上位10銘柄　（組入銘柄数： 45 ）

	銘柄	比率	配当利回り
1	HSBC HOLDINGS PLC	9.5%	3.7%
2	UNILEVER PLC	6.3%	3.6%
3	BP PLC	5.8%	4.6%
4	RIO TINTO PLC	5.3%	4.9%
5	GSK PLC	5.0%	3.8%
6	ASTRAZENECA PLC	4.4%	1.9%
7	NATWEST GROUP PLC	4.2%	5.1%
8	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	3.9%	5.9%
9	VODAFONE GROUP PLC	3.4%	3.2%
10	SHELL PLC	3.2%	3.2%
	上位10銘柄合計	51.0%	

◆組入上位5ヶ国・地域



◆組入上位5業種



※フィデリティ・UKエクイティ・インカム・ファンドは英国籍証券投資法人です。

※当ファンドの投資運用会社の提供するデータに基づき作成しております。

※組入上位10銘柄の配当利回りは公表されている実績データを元に委託会社が計算したものです。

月次運用レポート

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

2026年11月

■フィデリティ・ファンズ－アジア・パシフィック・ディビデンド・ファンド

（2026年9月末現在）

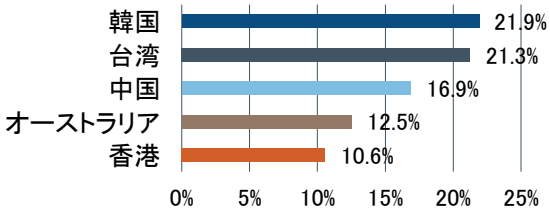
◆資産別組入状況

株式	99.3%
現金・その他	0.7%

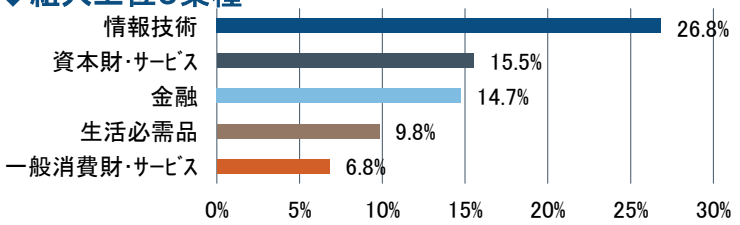
◆組入上位10銘柄　（組入銘柄数： 50 ）

	銘柄	比率	配当利回り
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MFG CO LTD	9.3%	1.0%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	9.3%	0.6%
3	SAMSUNG FIRE&MARINE INS CO LTD	4.0%	3.1%
4	CHINA MENGNIU DAIRY CO	3.5%	3.3%
5	AIA GROUP LTD	3.1%	2.7%
6	HKT TRUST AND HKT LTD	2.9%	6.8%
7	EVOLUTION MINING LTD	2.8%	3.1%
8	BGF RETAIL CO LTD	2.7%	3.2%
9	TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD	2.6%	2.2%
10	STANDARD CHARTERED PLC	2.6%	2.2%
	上位10銘柄合計	42.9%	

◆組入上位5ヶ国・地域



◆組入上位5業種



※フィデリティ・ファンズ－アジア・パシフィック・ディビデンド・ファンドはルクセンブルグ籍証券投資法人です。
※当ファンドの管理事務代行会社の提供するデータに基づき作成しております。
※組入上位10銘柄の配当利回りは公表されている実績データを元に委託会社が計算したものです。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

※フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。

モーニングスター・アワード2026
運用会社アワード受賞

フィデリティ投信は、
厳選された優れたパフォーマンスを持つ運用戦略を
日本の投資家の皆様に提供している点が高い評価を受け、
モーニングスター社が表彰する、
最も優れた運用会社に与えられる

2026年 モーニングスター
運用会社アワード

を受賞しました。

MORNINGSTAR Awards 2026™

©2026 Morningstar。無断複写・転載を禁じます。本情報、データ、分析、および意見は、(1) Morningstar、その関連会社、および／またはコンテンツプロバイダーの機密情報および専有情報を含み、(2)複製または再配布することはできません、(3) Morningstarが提供する投資助言を構成するものではなく、(4)情報提供のみを目的としており、証券の売買の勧誘を構成するものではなく、(5)完全性、正確性、および適時性を保証するものではありません。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。Morningstar、その関連会社、またはコンテンツプロバイダーは、本情報、データ、分析、または意見、あるいはそれらの使用または配布に起因または関連するいかなる取引の判断、損害、その他の損失についても責任を負いません。

フィデリティ投信 LINE公式アカウント

フィデリティ投信LINE公式アカウントは、ファンドに関する「マンスリーニュース」や「スペシャルレポート」など、マーケット情報を定期的にお届けします。

当社ホームページ

MK260513-4

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信

収益分配金に関する留意事項

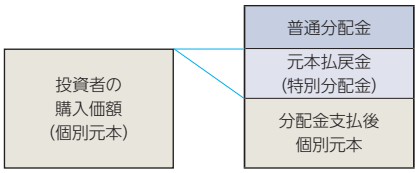
1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

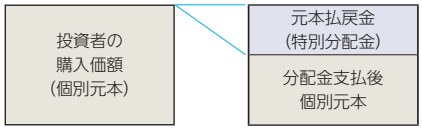
1

投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



●「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
●「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
●「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

2

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

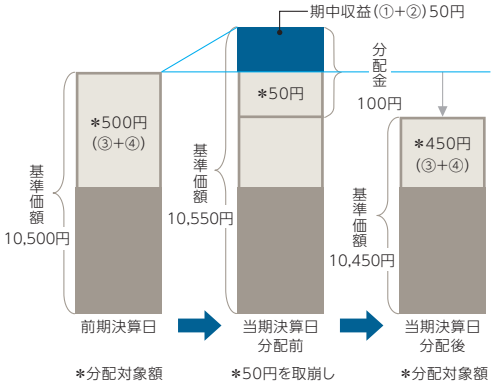
投資信託で分配金が支払われるイメージ



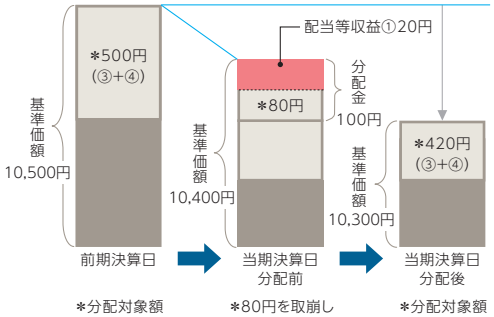
3

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。
投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

前期決算から基準価額が上昇 当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落 当期計算期間の収益がマイナスの場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

ファンドの特色

1	主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、「フィデリティ・UKエクイティ・インカム・ファンド」（英国籍証券投資法人）、「フィデリティ・ファンズ-アジア・パシフィック・ディビデンド・ファンド」（ルクセンブルグ籍証券投資法人）、「フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド（適格機関投資家専用）」（国内証券投資信託）（以下、総称して「投資対象ファンド＊」といいます。）に投資を行ないます。
2	投資対象ファンドへの投資を通じて、主として米国、英国（欧州を含みます。）、アジア・オセアニア（日本を含みます。）の取引所に上場（これに準じるものを含みます。）されている株式等（普通株式、優先株式、新株引受権証券、新株予約権証券等を含みます。）に投資を行ないます。
3	各投資対象ファンドへの基本配分比率は、それぞれ概ね3分の1を原則とします。マザーファンドによる投資対象ファンドの組入れ比率は原則として四半期毎にリバランスを行ない、原則として基本配分比率に調整します。投資対象ファンドの基本配分により、マザーファンドの実質的な組入資産の地域配分は、米国、英国（欧州を含みます。）、アジア・オセアニア（日本を含みます。）について、それぞれ概ね3分の1となります。
4	投資対象ファンドにおいては、個別企業分析により、配当利回りおよび長期的成長性に注目した個別銘柄選択を行ないます。
5	投資対象ファンドにおいては、個別企業分析にあたり、世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行ないます。
6	投資対象ファンドにおいては、ポートフォリオ構築にあたり、綿密な企業調査により投資価値の高い企業に分散投資を行なうことによりリスク分散を図ります。
7	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

＊投資対象ファンドは、委託会社の判断により、適宜見直しを行なうことがあります。これに伴い、投資対象ファンド以外の投資信託証券に投資することがあります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。
ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
ファンドが有する主なリスク等（ファンドがマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
為替変動リスク	外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
カントリー・リスク	投資対象国及び地域の政治・経済・社会情勢等の変化、証券市場・為替市場における脆弱性や規制等の混乱により、有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。税制・規制等は投資対象国及び地域の状況により異なり、また、それらが急遽変更されたり、新たに導入されたりすることがあります。これらの要因により、運用上の制約を受ける場合やファンドの基準価額の変動に影響を与える場合があります。なお、新興国への投資は先進国に比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

■クーリング・オフ：ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

■流動性リスク：ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

■デリバティブ（派生商品）に関する留意点：ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。

■購入・換金申込受付の中止及び取消しについての留意点：金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策の変更や資産凍結を含む規制の導入、クーデターや重大な政治体制の変更等））があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

お客様にご負担いただく費用（当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。）

直接ご負担いただく費用

購入時手数料	申込金額に下記の手数料率を乗じて得た額とします。 （申込金額：（購入申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口）×購入口数）	
	お買付時の申込金額	手数料率（税込）
	1,000万円未満	**3.30%**
	1,000万円以上5億円未満	**2.20%**
	5億円以上10億円未満	**1.10%**
	10億円以上	**0.55%**
	※ただし、償還乗換え等の場合には、償還金等の額の範囲内で取得する口数について上記手数料を無料とさせていただきます。	
換金（解約）時手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対し、年0.8173%（税抜0.743%）の率を乗じた額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
投資対象とする投資信託証券*	年率0.657%（税抜）程度
実質的な負担*	**年率1.50%（税込）程度**
その他費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年6月及び12月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。

*投資対象ファンドの変更等により将来的に変動することがあります。
*投資対象ファンドの運用管理費用以外の費用が発生する場合があります。
※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

設定日	2005年3月4日
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。
購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として、販売会社が定める単位とします。
購入価額（1万口あたり）	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	原則として、購入申込受付日から起算して5営業日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。
換金単位	1口以上1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークにおける銀行休業日及び英国の休業日と同じ日付の日には、販売会社の営業日であってもご購入・ご換金のお申込みの受付は行ないません。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
信託期間	原則として無期限
繰上償還	ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
決算日	原則、毎年3月、6月、9月及び12月の各20日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。

フィデリティ・グローバル好配当株ファンド

追加型投信／内外／株式

収益分配	年4回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 なお、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 ◎分配金再投資コースをご利用の場合……税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 ◎分配金支払いコースをご利用の場合……税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。販売会社でお受取りください。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	**フィデリティ投信株式会社** 【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第388号 【加入協会】一般社団法人資産運用業協会
受託会社	**三菱UFJ信託銀行株式会社**
販売会社	**大和証券株式会社** 【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第108号 【加入協会】日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人　金融先物取引業協会、一般社団法人　第二種金融商品取引業協会

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 「フィデリティ・グローバル好配当株ファンド」がマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた株式等やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた株式等やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（https://www.fidelity.co.jp/）をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。
- 写真やイラストはイメージとして掲載するものです。人工知能（AI）を用いて生成されたイメージを含む場合があります。